

わだち

番外編 2010 夏号

毎日セミナーでは卒業後、毎日セミナー同窓会に加入していただいています。同窓会ではキャンプなどの行事が設けられているほか、年に2回ほど同窓会報『わだち』を会員の皆様にお届けしています。今回は番外編として、『わだち』編集部の先輩、村野翔平くん(42回生)からセミナー生へのメッセージをみなさんにお届けします。



セミナー生のみなさんはじめまして！ 42回生の村野翔平です。毎日の配達と勉強お疲れ様です。今年の夏も暑いですね。夏バテに負けず、しっかり水分補給をして夏を乗り切ってください！

今回は僕の大学生活について書こうと思います。僕は今、大東文化大学スポーツ・健康科学部のスポーツ科学科に所属しています。セミナー生のOBにはスポーツ系学科に通っている方があまりいないと思うので、もし、今スポーツ系の学部・学科を受験しようと考えている人、少し興味がある人のために簡単に説明します。

まず、授業には大きくわけて実技と講義があります。実技の授業では、水泳、陸上運動、そして器械運動を行います。僕は運動が得意なほうではありません(笑)。しかも、一年間のセミナー生活で本格的な運動は一年ぶり。入学前はとても不安でした。でも、実際は予想していたよりも大変ではないし、先生方の指導の下にいまではとても楽しく授業を受けています。じつは、僕の器械運動の先生はオリンピック金メダリストの鹿島文博さんで、トップアスリートの生の声を聞けるので、毎回の授業で自分にとって貴重な経験をさせていただいています。

また、講義では解剖学やスポーツ心理学、スポーツ法学など多彩な分野があって関心をもちながら楽しく勉強できます。少しでも興味があればスポーツ系学部を視野に入れてもいいと思います。

最後に。今でも学校は毎日通っていますが、セミナー生の頃は、朝刊の時間に起き、セミナーに行き、夕刊を配り、寝るまで仕事や勉強、というサイクルをよくできていたなあと思います。もうそろそろ、皆さんも生活のリズムができている頃だと思いますが、それに伴って勉強や仕事などでの悩みが出てきている頃だと思います。もし悩んでいるなら積極的に先生やアドバイザー、セミナーの仲間に相談してください。話すことでスッキリするし、僕もいろいろな人に話をしたのを覚えています。成績が伸びなかったのでアドバイザーによく問題を出してもらったり、勉強や仕事での話を友達にできたことで一年間頑張れました。まだまだこれから成績は伸びるので、復習と英単語などの基本的なことを着実にこなしてってください。応援しています！

スポーツ系学科のある大学のパンフレットも多数取り揃えています！
気軽に閲覧できます。詳しくはアドバイザーまで

